

まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和 2 年 10 月 20 日（火）18：30～20：10

場 所：南部公民館

出席者：23 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の利活用について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町長：他の会場では、整形外科は午前中しか診療していないが、午後からも診療してほしいという意見がある。また、以前は小児科があったが今はなく、町内に個人経営の小児科医院はあるが、栗山赤十字病院に新設してほしいという意見もある。診療科や病床数について、ご意見があればいただきたい。

町民：急性期の患者は大きな病院で受け入れたほうが、安心して治療を受けられる。慢性期になったら栗山赤十字病院に戻すようにしてほしい。

町長：高度急性期や専門の診療が必要な患者は、状態が安定するまでは、札幌や岩見沢の病院で診療してもらうことでの連携を取っている。南空知全体で4市5町の中で検討会議というものを設けていて、それぞれの病院がどのような役割を担っていくかを検討していくので、その中で栗山赤十字病院はどのようにしていくかを町民皆さんのご意見を聞きながら検討を進めていきたい。町内外の病院とも連携をとり、町民の安心安全を確保していく。

町民：医師不足の問題は深刻だが、栗山赤十字病院を建て替えたなら、医師の確保は容易になるのか。

町長：現在栗山赤十字病院の常勤の医師は6人、非常勤が1人、出張医師が14人の、21人体制で12の診療科を診ている。改築後もこの体制を基本にするが、整形外科や皮膚科などを増設するなら、新たに医師を確保する必要がある。市立・町立の病院は医師の確保が大変だが、栗山赤十字病院は公的病院なので、出張医師を14人も確保できている。改築後も栗山赤十字病院に必要な数の医師を確保してもらう。

町民：医師不足が原因で建て替えるわけではないのか。

町長：建物の老朽化と、耐震化の工事が一番の原因。医師不足はあくまで全国的な現状として述べた。

町民：現在の栗山赤十字病院は大変評判が悪い。検査の結果が出るのが遅いため、岩見沢の病院で治療する人が多い。汚名返上は難しいと思う。

町長：去年行った町民アンケートでも、栗山赤十字病院への批判的な意見や不満は出ている。町に総合病院は必要なので、栗山赤十字病院には厳しい意見もすべて伝えている。これからも町民皆さんの安心安全確保のために、栗山赤十字病院と協議していく。

町民：岩見沢市立病院は常に3人体制で消毒、体温測定を入口で行っていた。現在は1人のみで、パネルによる体温測定を実施している。栗山赤十字病院は面会を制限しているものの、消毒も体温測定もしていない。新型コロナウイルスの流行は長引くと思うので、体温検査だけでもしてくれたほうが安心できる。

町長：発熱がある場合、事前に電話で相談されれば、動線を分けて集中外来で検査する体制をとる。また、11月から抗原検査を受けられるようになる。

日赤改築室長：11月9日から発熱者外来を設置し、発熱者はそこで検査する。PCR検査は結果が出るまでに2日ほどかかるが、抗原検査は1時間ほどで結果が分かるので、安心して利用してほしい。

町長：建設場所を変えると6億円の解体費の財源を捻出する必要があるので、現地建て替えが最善。栗山赤十字病院に聞くと、現在の病院の南側に建て替えられるだけの土地があり、現在建物がある場所は駐車場に使えるとのこと。また、建物の横に人工透析病棟があるが、比較的新しいので活用できる。

町民：現在の場所の近くに建てばいいと思っていた。新しく土地を買うと土地代がかかるので、現地建て替えの話を聞いてほっとした。

《懇談内容》

【その他（情報提供）】

町民：NTTから光回線の契約をしないかという電話が来たが、今回の説明と関係はあるのか。

副町長：継立の光回線はすでに整備されている。

町民：ごみ処理場の建設がどのくらい進んでいるのか教えてほしい。生ごみや燃えるごみの処分方法はどのように変わるのか。また、継立から岩見沢の市立病院に行くには乗り換えが必要だが、なかなか時間帯が合わない。1時間に1本は町営バスを運行してほしい。

環境政策課長：令和元年に焼却施設の工事を発注し、令和6年4月の稼働を目指して工事を進めている。資源ごみはこれまでどおりの分類で、炭にできるごみ・できないごみの表示は、燃えるごみ・燃えないごみの表示に変更する。また、生ごみは焼却するごみに変更する。

建設総括：札幌や岩見沢に向かうバス・JRへの乗り継ぎが難しいという意見は聞いている。町営バスの便は全面的に確認作業を行っており、他のバス・JRの路線と時間帯が合うように設定していきたい。なお、以前継立の方から、芸術祭などのイベントで町営バスを運行してほしいという意見が出たため、議会で臨時便の予算化を提案していたが、新型コロナウイルスの流行により、夏祭りと秋まつりが中止になったため、予算化したが実現しなかった。来年これらのイベントを開催することになれば、臨時便も再度検討したい。

町民：新型コロナウイルス対策で、国も町も莫大な予算を投入したと思う。現役世代や子どもたちにもどのような影響が出るのか。これから消費の低迷や税収不足などで、社会福祉にも影響が出てくると思う。国の事なのでわからない部分もあると思うがわかる範囲で教えてほしい。

町長：新型コロナウイルス対策には、国・道・自治体がそれぞれ予算を使っている。町は8億9000万円を対策費用に充てているが、国からの交付金により、一般財源の持ち出しは5000万円ほどに抑えている。全部で62のコロナ対策事業に使い、効果的に活用した。また、今後の人口減少や高齢化が進む中、栗山赤十字病院の改築に大きな財政支出を伴う。改築にも一般財源の持ち出しはないが、今後30年間の財政見通しをシビアに作っていく。将来的には、町民に負担をお願いするかもしれないが、今の状況の中で今後30年を見通していくと、なんとか町の財政は進んでいけると認識している。

町民：継立の野球少年団は、3月で指導する先生が退職する。来年・再来年もチームに入る子はいるので、野球のできる先生を呼んでほしい。

教育長：空知管内の野球少年団のうち、今年は4人が退職する。どの町も、退職後も町から出ていかないように努力をしている。新卒の方も含め、野球の指導ができる先生を探しているが、非常に少なくなっている。

町民：継立南学田線の開通と、公営住宅の建て替えは、新型コロナウイルスの影響で予算がとれないとは思いますが、いつ実現できるのか。

建設総括：継立南学田線は、現在行っている継立北部地区の基盤整備と同時に拡幅を行っている。住宅がある部分は事業から外れているが、残りの部分も同じ幅で工事を実施する。公営住宅は今年から移転・建て替えを始めている。老朽化も進んでいるので、遅れずに工事を進めたい。

20：10 終了